

所 属 鳥取県漁業協同組合（淀江支所）
氏 名 いけぶち かずき
池 淵 和 樹（23 歳）
船 名 よどえ丸 4.8 トン
漁業種類 定置網（アジ、サワラ等）



～定置網船から学ぶこと～

破れた定置網を直しながら「自分の出来を点数で言うならば40点です。先輩漁師のように早くて綺麗には直すためには、まだまだ経験が必要です」と謙虚な言葉を口にした池淵さん。淀江で乗組員5名の定置船の漁労長、兼船長を務めている。

漁労長の役割の一つとして、その日の海の状況や風の予報を判断して操業の判断をする必要がある。ある時、海況に不安を感じながらも船を出したが、風が強くなったことがあったそうだ。しっかりと判断しなければいけない、と反省とともに漁労長としての自覚と責任を感じたそうだ。

「大切にしていることは？」との問いに、「何よりもチームワーク（協調性）が大切です。だからこそ、日頃から乗組員としっかりコミュニケーションを取るようにしています」と答えてくれた。その言葉からは、周りの漁師に教えられ成長する船長の姿が見え隠れしていた。

～どんな時も魚を～

「自由な時間ができると冒険心をフル活動させ、行き場も決めずに車で出かける。」と言う。これまでに高知県や兵庫県へ行ったそうで、そんな時も必ず釣り竿を振ってから帰ってきたそうだ。自由な時間も魚、仕事の時間も魚、本当に魚が好きなのだろう。

（文責：門脇 慧史）